

岡山大学

歯学部

OKAYAMA UNIVERSITY
DENTAL SCHOOL

● 歯学科



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2020年度 学部案内



目次

岡山大学歯学部案内 2020

学部長挨拶	3
沿革	4
教育理念	5
カリキュラム	6
グローバル教育	9
卒業後の進路	
卒後臨床研修センター	10
大学院	11
活躍する先輩たち	12
研究室紹介	13
サークル紹介	16
岡山市内案内	17
わたしの岡大ライフ	18
キャンパス紹介	20
病院紹介	22

地域社会・ 世界を俯瞰する

地域・世界で活躍できる 歯科医師・教育者・研究者等の 人材育成

歯学部長
浅海 淳一



岡山大学は、11学部を有している総合大学です。歯学部では、歯学、医学、薬学、保健学を含めた医療系のほか、自然科学系、人文学系、教育学系、社会科学系に至る幅広い分野の教育や研究を取り入れています。このことを反映して、卒業生は、国内外の歯学部および医学部等の教職員、研究機関や行政機関の職員、国内外の医療機関における歯科医師等として活躍しています。このように岡山大学歯学部では、国内・海外を問わず、いかなる社会・分野にも適応できる人材育成を目標としています。

少子超高齢化中で、社会から歯科医師に求められるニーズも大きく変化しています。高齢者や有病者などの病態、精神心理学的・社会的な問題の理解が不可欠となり、歯科医師に求められる能力も増加しています。医師や行政、さらに社会と連携した診療対応も必要となっております。岡山大学歯学部も、大学病院、大学院医歯薬学総合研究科、岡山県歯科医師会、岡山市歯科医師会等と連携を密にし、医療支援歯科医療学、在宅介護歯科医療学等の医科歯科連携教育を積極的に行い、新しい教育ニーズの開発と発展に取り組んでいます。歯科医師として不可欠な臨床技術教育も充実し、マンツーマンの臨床実習、周術期管理や在宅・介護現場に通用する隣地実習も行っています。

国際交流も盛んです。40あまりの海外大学と交流を行っています。2012年から学部学生の双方の留学を進めており、2018年からは、すべての学年で留学を可能にしました。2001年～2018年に岡山大学歯学部から177名の学部学生を海外に派遣し、2012年～2018年に120名の海外からの留学生の受け入れを行っています。交流学生数は増加傾向にあり、2018度には、29名の学部学生を世界各国に派遣し、海外からも18名の留学生を迎えています。

この様な国内外で発揮できる『現場力』を重視した教育方針が功を奏し、岡山大学歯学部の卒業生は、国際的な医療基準に立脚した知識、技術と医療態度を身につけ、高い評価を得ています。岡山大学歯学部で学び、地域や世界で活躍できる現場力のある人材として歯科医師や教育研究者等を目指しましょう。



明日の医療における歯科医療

全身と心の健康に満ちた生活を支えるための口腔機能を追求する
歯科医師や研究者を育成します。

沿革

学部

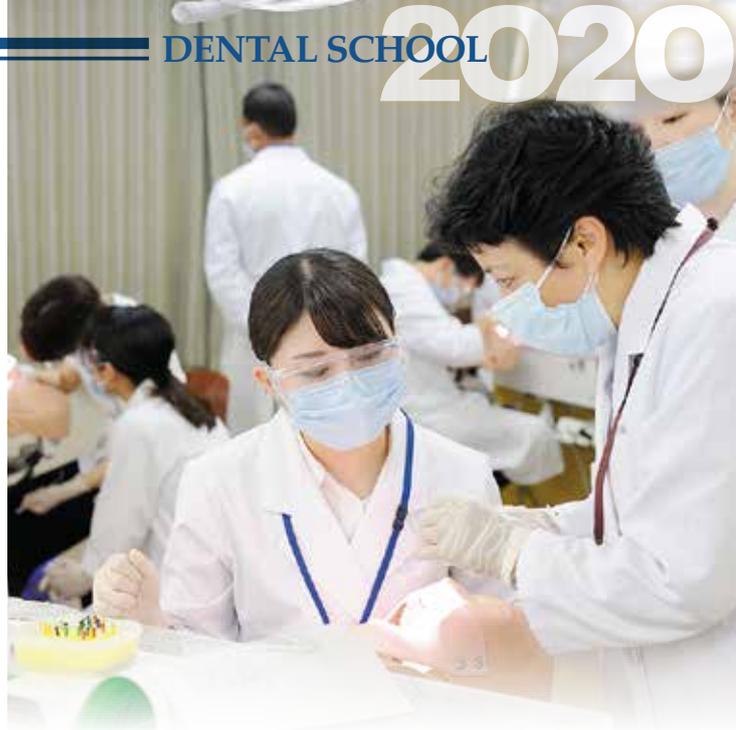
- 昭和 52 年 4 月 歯学部創設準備室設置
- 昭和 54 年 10 月 岡山大学歯学部設置
- 昭和 55 年 4 月 歯学部第一期生受入（入学定員 80 人）
- 昭和 56 年 12 月 歯学部校舎および附属病院棟新営工事竣工
- 昭和 57 年 4 月 歯学部専門課程の授業開始
- 昭和 59 年 4 月 18 講座設置完了
- 昭和 63 年 4 月 入学定員 60 人となる／大学院歯学研究科設置
- 平成 12 年 4 月 入学定員 55 人となる
- 平成 13 年 4 月 大学院医歯学総合研究科（博士課程）を設置
- 平成 14 年 4 月 歯学部学士入学第一期生受入（3 年次編入；入学定員 5 人）
- 平成 15 年 4 月 大学院医歯学総合研究科（修士課程）を設置
- 平成 16 年 4 月 国立大学法人岡山大学へ移行
- 平成 17 年 4 月 大学院医歯薬学総合研究科（博士課程・修士課程）を設置
- 平成 23 年 4 月 入学定員 48 人となる
- 平成 26 年 6 月 先端領域研究センターを設立
- 平成 26 年 8 月 国際バカロレア入試を開始
- 平成 27 年 4 月 歯学教育・国際交流推進センターを設置
- 平成 28 年 4 月 歯学部学士入学編入年次変更（2 年次編入）
- 平成 29 年 9 月 応用情報歯学分野を設置

病院

- 昭和 55 年 4 月 歯学部附属病院創設準備室設置
- 昭和 57 年 4 月 附属病院棟新営工事竣工、歯学部附属病院設置、診療開始（7 科、20 病床）
- 昭和 58 年 4 月 診療科増加（9 科）、病床数増床（40 床）
- 昭和 59 年 4 月 診療科増加（10 科）
- 平成 5 年 4 月 診療科増加（11 科）
- 平成 7 年 11 月 特殊歯科総合治療部（院内措置）を設置
- 平成 13 年 4 月 特殊歯科総合治療部（省令措置）および地域医療支援室（院内措置）を設置
- 平成 14 年 2 月 口腔インプラント外来および顎関節症・口腔顔面痛み外来を設置
- 平成 14 年 12 月 卒後臨床研修センターを設置（院内措置）
- 平成 15 年 4 月 審美歯科外来を設置
- 平成 15 年 10 月 歯学部附属病院と医学部附属病院を統合、医学部・歯学部附属病院を設置
- 平成 16 年 4 月 国立大学法人岡山大学へ移行
- 平成 19 年 1 月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称（医療法上）
- 平成 21 年 4 月 医学部・歯学部附属病院が岡山大学病院に改称（組織上）
- 平成 22 年 12 月 特殊歯科総合治療部を廃止、スペシャルニーズ歯科センターと医療支援歯科治療部を設置
- 平成 25 年 1 月 口腔検査・診断センターを設置
- 平成 27 年 5 月 口唇裂・口蓋裂総合治療センターを設置
- 平成 29 年 5 月 侵襲性歯周炎センターを設置
- 平成 30 年 10 月 デンタルインプラントセンターを設置



を創出しよう!



アドミッションポリシー

教育内容 ・特色

歯学部の使命は、良き歯科医療人を育成し、歯科医学を研究し、発展させることです。社会のニーズの多様化と国際化が急激に進む中で、歯科医療もますます高度化しつつあります。歯学部では「国民への高度な歯科医療の提供」と共に「先端的な歯科医療の研究開発」を重視した人材育成を行っています。

歯科医学は幅広い総合的な学問領域です。歯学部では自然科学から人文・社会科学的な分野の教育と研究も行われています。文系・理系に関わらず、さまざまな学生が活躍できる学部です。

求める人材

文系・理系を問わず、次のような熱意のある人を求めています。

- 歯学教育を受けるに十分な基礎学力を持っている人
- 他人を思いやる優しさの高い倫理観を持っている人
- 何事にも意欲的に取り組むことができる人
- 生命、健康科学に強い好奇心と探究心を持っている人
- 歯科医師として国民の健康、福祉・介護、さらには国際医療に貢献したいという明瞭な目的意識を持っている人

【入学後の学修のため、高等学校段階までに習得してもらいたいこと】

高校では特定の科目に偏ることなく、授業に意欲的に取り組んでください。知識を習得するだけでなく、様々な社会の問題に関心を持ち、そして自分の考えをもって行動する姿勢は、歯学分野において社会に貢献するための基礎となる全人的な能力の育成に必要な不可欠なものです。

※歯学部のアドミッション、ディプロマ、カリキュラムの各ポリシーは歯学部ホームページをご覧ください。
(https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html)



カリキュラム

世界に通じる全人的医療人を育成します。



※7 プロフェッショナルとして臨床事実に基づく歯科医療を行うための基礎を修得します。



※9 マネキンを患者と想定して、様々な歯科臨床技術を習得します。

※8 講義シリーズ(生活習慣病と口腔・急性期医療・在宅介護医療) 超高齢社会に対応するための課題解決型講義。e-Learning でいつでも繰り返し学ぶことができます。

第1学期

第2学期

6年次

診療参加型
臨床実習 ※10

シミュレーション実習

在宅介護歯科医療実習

5年次

専門歯学臨床科目
講義・実習

講義シリーズ ※8

総合歯科医学

死生学・認知症

臨床技能
実習 ※9

全国共用試験
(CBT・OSCE)

進級判定

4年次

EBM とプロフェッショナリズムへの覚醒 ※7

隣接医学講義 ※6

3年次

専門歯学基礎科目
講義・実習

医療コミュニケーション学演習 ※3

医療法学・社会福祉学



2年次
編入学(学士入学)

チュートリアル
(問題発見解決型学習法) ※1

情報処理入門

人体発生学入門

歯科医療演習

教養教育科目

1年次
一般入学

早期見学実習 ※2



※1 テーマに沿った話題について、グループごとに討論、発表することで、自己学習能力を習得します。

※2 新生者が医療施設の見学や体験実習、患者さんのエスコート実習を行い、医療人としての自覚を持ちます。



※3 対人コミュニケーション実習で得た知識やスキルを活用して、各症例に沿った問題を発見し、グループ討論を行います。

※10



実際の臨床の現場にて、教員の指導のもとで臨床技能と態度を養います。

※11

臨床実習を終え、これまでの歯学教育内容を整理し、歯科医師国家試験のための準備を行います。

第112回(平成30年度)
歯科医師国家試験
合格率91.1%
全国平均79.4%
10年平均87.8%



第3学期

第4学期

総合歯学演習 ※11

診療参加型
臨床実習 ※10

実践歯科医療学

シミュレーション実習

在宅介護歯科医療実習

卒業判定
国家試験

進級判定

講義シリーズ ※8

進級判定

自由研究演習(研究室配属) ※4

歯学国際交流演習(ODAPUS) ※5

解剖学実習

専門歯学基礎科目
講義・実習

進級判定

モノ・コトデザイン演習

細胞生物学

進級判定

※4



各研究分野において学生が自ら実験研究に参画し、科学的視点を身につけます。

※5



海外の大学の聴講生として短期留学し、広い視野を身につけます。

※6

岡山大学医学部から講師を招き、臨床医学について学びます。



※詳細および編入学(学士入学)については歯学部ホームページを参照してください。 <https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>



歯学部学士教育課程の構築と 独自の専門教育 カリキュラム

■ 専門教育（科目の構成）

- ▶モデル・コア・カリキュラム準拠
（全国共通能力基準をクリア） ……60～70%
- ▶独自のカリキュラム（多彩な能力を修得） ……30～40%

■ 独自のカリキュラム

- 1 早期見学実習 1年次（図1）
- 2 チュートリアル（問題発見解決型学習法） 1年次（図2）
- 3 自由研究演習（研究室配属）または歯学国際交流演習（ODAPUS） 3年次
- 4 医療コミュニケーション学演習 3年次
- 5 EBMとプロフェッショナリズムへの覚醒 4年次
- 6 在宅介護歯科医療・シミュレーション実習（図3） 5・6年次
- 7 診療参加型臨床実習 5・6年次（図4）



図1 早期見学実習



図2 チュートリアル



図3 シミュレーション実習



図4 診療参加型臨床実習

学士課程教育の構築：進化しつづけるカリキュラム

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）の設定と見直し



カリキュラムポリシー・カリキュラムマップに基づく体系的カリキュラム編成

- 多様化する社会のニーズに即応した教育内容
- アクティブ・ラーニングの積極的応用
- 60分授業化と単位の実質化促進
- 研究マインド育成プログラムの設定
- グローバル人材育成科目の導入

各ポリシー等は、http://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/policies_j.html を参照してください。

自由研究演習（研究室配属）

日浦梨紗子 4年次生
福山市立福山高等学校出身

私は3年次の自由研究演習（研究室配属）で約2ヵ月間、口腔機能解剖学分野でお世話になりました。短期間での研究は初めてということもあり、苦勞することも多々ありましたが、指導して下さった先生方とともに研究を行った友人のおかげで、楽しく、普通の学生生活では体験できない有意義な時間を過ごすことができました。また、ただ研究して終わりではなく、その研究結果をもとに今後どのようなことが医療で期待されるか、次に行うべきことは何かなど、“自分で考える”という貴重な経験もさせていただきました。この研究室配属で得たことを、今後の生活に活かしていければと思っています。皆さんも是非研究を通して、日常とは違った時間を楽しみましょう。



グローバル教育



ODAPUS

ODAPUSとはOkayama University Dental School Short-Term-Study-Abroad Program For Undergraduate Studentsの略称で、1～5年次生が、海外の大学に聴講生として参加できる短期留学制度です。岡山大学特有の制度で、派遣大学から受講証明書を取得することで単位として認定される選択科目です。現在は、世界各国の有力大学歯学部への留学が可能となっています。

提携大学 (2019年度予定)

・カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (アメリカ)・オハイオ州立大学 (アメリカ)・チャールズスタート大学 (オーストラリア)・西プルトーニュ大学 (フランス)・シンガポール大学 (シンガポール)・大連医科大学 (中国)・ハサヌディン大学 (インドネシア)・ハイフォン医科薬科大学 (ベトナム)・サンパウロ大学 (ブラジル)・台北医学大学 (台湾)・マヒドン大学 (タイ)・香港大学 (中国)・フィニステラエ大学 (チリ)・ソウル大学 (韓国)・ニッテ大学 (インド)・ハノイ医科大学 (ベトナム)・オタゴ大学 (ニュージーランド)・チェンマイ大学 (タイ)



竹中 佑斗 4年次生
名古屋高等学校出身

私はインドのニッテ大学へ約一ヶ月間留学しました。主に講義へ参加、補綴科・矯正歯科・口腔外科などの診療の見学、また受け入れ先の教授の研究の一部にも携わらせて頂きました。歯科治療で日本製品がよく使われていること、学生が二人一組で簡単な治療からカルテを作成する様子、将来には海外の大学へ進学を希望する学生もいることに衝撃を受けました。この見聞で世界における日本の位置付けや自分の考えの稚拙さを認識でき、将来をよく考える機会になりました。

歯学部6年制の折り返しである3年次はダレてくる時期でもあります。そんなとき海外という日本と異なる環境に挑戦することは、「自分を見直す、将来の指針を考える」良い機会です。また、海外の歯学生と友達になれることも魅力の一つです。滅多にない機会なので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。

グローバル人材育成特別コース

棚井 あいり 2年次生
Seisen International School 出身

グローバル人材育成特別コースでは、入学した学部にも所属しながら、コースのカリキュラムに則して英語力養成、海外研修・留学などのプログラムを履修します。各学部において、将来有望な人材を発掘し、グローバルリーダーシップを育むためのコースです。



多文化の思想に興味を持ち、あらゆる視点から物事を理解したい意欲的な学生が集まるのが「グローバル人材育成特別コース」です。このコースの特徴は、英語を学ぶのではなく、英語で様々な講義をアクティブラーニング形式で受講することです。つまり、「学ぶ」を「実践」に移すチャンスを得るのです。ディスカッションベースで能動的な授業を受けることで、自ら考えて総合的に結論を導き出したりアクションを取ったりするスキルを身に付けます。学部や国境を越えて同じ志を持った仲間に出会えることも大きな魅力です。私自身、このコースを通して知り合った人から、モチベーションを日々もらっています。このコースを通して「グローバルな人材」、即ち国際的な知識を活かして国内外問わず活動できる人になります。さあ、向上し合える仲間と一緒に探しませんか。

海外ボランティア

平成20年卒業 藤田麻里子
岡山大学病院 歯科総合診断室 助教



岡山大学の一期生の先生が中心となって、DNOW (Dentist Network from Okayama to the World) というボランティア団体が設立されています。この活動には、開業されている先生や大学職員など、様々な場所で活躍しているメンバーが参加します。歯学部の学生も参加可能で、平成31年2月にはベトナム・ホーチミンでのボランティア活動に1年次生と2年次生の学生が1名ずつ参加しました。DNOWの活動は様々な場所で活躍している歯科関係者が参加することもあり、それぞれの視点からよりよく活動を行うための情報交換を行って活動に参加します。ベトナムの現地ボランティアの方々をはじめ、活動に関わる多くの人とのつながりを通して、日常臨床の視野も広がっていきます。今後もこのような活動を発展させていけたらと思っています。

栗田 大輝 2年次生
名古屋市立 菊里高校出身

松本 由梨子 1年次生
岡山県立 岡山朝日高校出身

今回、私たちはベトナムでの活動に参加させていただきました。まだライセンスのない私たちでも子どもたちの健康管理に寄与することができ、医療者としての第一歩を踏み出せたと感じています。また、現地ボランティアの方々や、性別や年齢も様々な日本人のメンバーの方々や関わる中で、新たな発見や将来の歯科医師像のヒントを多く得ることができました。皆さんも、学生のうちから貴重な経験をしてみませんか？





卒業後の進路

研修医
センター

充実した歯科医師卒後臨床研修の提供

卒後臨床研修センター 歯科研修部門



平成 18 年から歯科医師法が改正され、新たに歯科医師免許を取得した歯科医師は 1 年以上の臨床研修を受けることが義務化されました。これに対応して、岡山大学病院では、1 年間の充実した歯科医師臨床研修を行うことが可能なプログラムを提供しています。

本院での研修の目標は、医療人である歯科医師にとって必要な態度、知識および技能を習得し、生涯研修の第一歩とすることです。この目標を達成できるように、机やロッカー、パソコンを設置した研修歯科医室など充実した研修ができる環境も提供するとともに、歯科臨床のみならず、セミナー、カンファレンス、さらには救急救命講習等を組み込んだ魅力的なカリキュラムとしています。また、研修歯科医が日々の診療を振り返ることにより多くの気づきが得られ、歯科医師としてのプロフェッショナリズムを学ぶ手助けになるように、パソコンを使った独自の研修教育システムも活用しています。

このような本院での卒後臨床研修は、社会から期待される歯科医師となるための礎として研修歯科医各自の将来に向けて有効に役立ててもらえるものと確信しています。



卒後臨床研修センター歯科研修部門長

鳥井 康弘 教授

大阪府立高津高等学校 昭和 50 年卒業

OB・OGは今…



富澤 一仁 熊本大学 大学院生命科学部 研究部長・教授
大学院医学教育部 教育部長
医学部 医学部長
(平成元年卒業)
(徳島県立脇町高等学校 昭和 58 年卒)

熊本大学で医学部長などを拝命し、医学教育や糖尿病の分子機構などの研究に従事しています。大学卒業後は医学部で研究を行って来て、現在に至っています。卒業後の進路は、歯科医師になるだけが選択肢ではありません。幅広い知識と見識を身につけて、様々な分野あるいはグローバルに羽ばたいていただきたいと願っています。

チャレンジを恐れずに、自分の目指す歯科医師像に向かって突き進みましょう!!



大学院

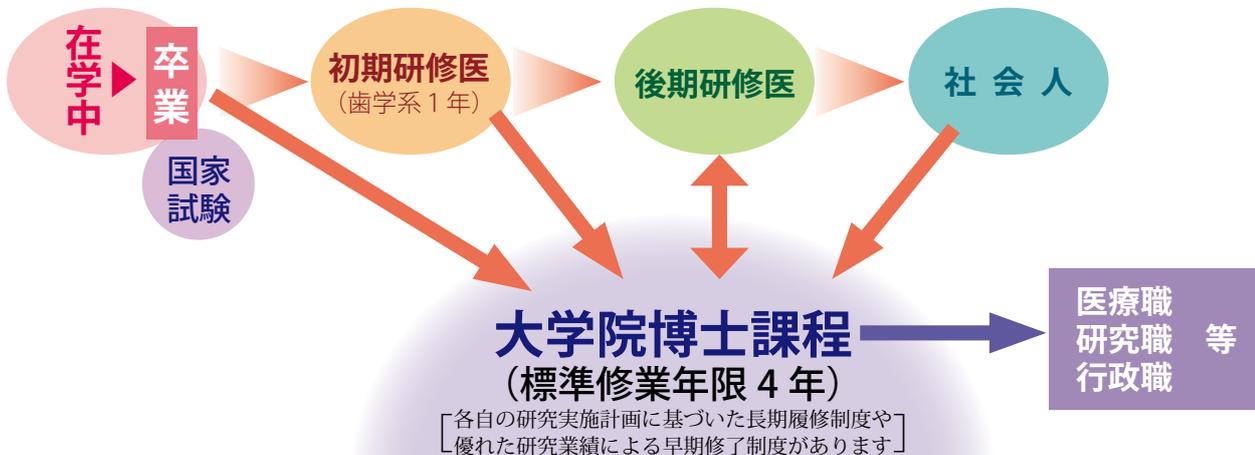
医・歯・薬の3学部が連携して次世代のヘルスサイエンスを開拓する

大学院医歯薬学総合研究科



大学院では、海外からの留学生、あらゆる学部の卒業生、社会人として活躍中の人々が、今までの歯科医学の枠を超えた斬新な視点から日夜研究を進め、ヘルスサイエンスの明日を導く旗手として世界中の注目を浴びています。

多様化する社会の要請に応える工夫された課程



コースワーク

- 臨床専門医コース (歯学系)
- 分子イメージング教育コース
- Post-O-NECUS
- 連携大学院
 - ・国立感染症研究所
 - ・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

生体制御科学専攻
病態制御科学専攻
機能再生・再建科学専攻
社会環境生命科学専攻

授与される学位の種類
博士 (歯学)
博士 (学術)

特色ある教育プロジェクト

- 大学院教育改革推進プログラム「医療系大学院高度臨床専門医養成コース」
- 岡山分子イメージング高度専門人材育成事業

OB・OGは今…



堀内 美希 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 研究公正・法務部 (兼)
(平成19年卒業) 国際事業部 安全保障輸出管理グループ 調査役 / 弁護士・歯科医師
(土佐高等学校 平成10年卒)

卒業後に大阪大学 (法科大学院) へ進学し、現在は研究機関の環境整備など日本の医療研究をサポートする公的機関で弁護士として働いています。在学時、先輩や留学生の研究補助を行いました。先輩方が診療後に研究に没頭し、何年もかけて研究成果を出す姿を目の当たりにしました。この姿を心に留め、日本の医療研究の発展のため自己研鑽に励んでいます。



活躍する先輩たち

岡山大学歯学部卒業生は、さまざまな分野で活躍しています

昭和63年卒業 **松香 芳三**
徳島大学 大学院医歯薬学研究所
顎機能咬合再建学分野 教授



歯科補綴(ほてつ)学分野において、口腔組織の再生・再建、口腔顔面痛、睡眠時歯ぎしり、歯科金属アレルギーなどに関する教育・臨床・研究を行っています。岡山大学歯学部での学生生活は鮮明な記憶として残っており、現在の私の基礎になっています。素晴らしい学生生活を満喫し、様々な分野で活躍できる人材となってください。

平成元年卒業 **船橋 誠**

北海道大学大学院歯学研究院 口腔生理学教室 教授
北海道大学 脳科学研究教育センター 教授(兼任)



生理学の教育と悪心・嘔吐の神経機構に関する基礎研究に従事しています。生理学は人体の正常機能に始まり自然哲学に通じるのが魅力です。世の中がAIを駆使した Society 5.0 へ激変する中、学問の世界には普遍的価値を見いだすことができます。後輩の皆さんがそれぞれの学問の世界を極めて、ずっと幸福でありますようお願いしています。

平成2年卒業 **梶浦 靖二**
島根県 雲南保健所 所長



歯科医師としては、全国で4人目となる保健所長をしています。地元の市長や町長、病院長や医師会長等とともに、保健医療福祉施策に取組み、『行政』という仕事の醍醐味を味わっています。岡山大学で学ぶ「Public Health Mind」は、各方面で活躍できる医療人としてのコアとなります。皆さんとともに仕事ができることを心待ちにしています。

平成4年卒業 **犬飼(林崎) 順子**
愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生学科 教授



最近は教育の質保証という名のもとに私立の短期大学でも大学の改革が迫られており、多忙な日々を送っています。愛知学院の歯科衛生士の養成は歴史と実績があり、充実した質の高い教育を提供し学生が誇りを持って卒業できるように心がけています。岡山大学歯学部の学生・卒業生のみなさんも、誇りを持って活躍されることを期待しています。



平成8年卒業 **西谷 佳浩**
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
歯科保存学分野 教授

最近、教員も学生も海外の大学と交流する機会が増えています。年々増加する国際交流関連の仕事を担当する教員として、米国の大学で17年間勤務してきた平岡雅博先生(岡山大学11期生)が私たちの仲間に加われました。学生の皆様も、ぜひ海外の方々と積極的に交流してください。将来、国際社会で活躍されることを楽しみにしています。

平成8年卒業 **恒石 美登里**
日本歯科総合研究機構 主任研究員



日本歯科医師会に設置された日本歯科総合研究機構で、主任研究員をしています。歯科医師を目指す方々にとって魅力ある歯科医療・口腔保健政策の維持・向上を目指し、最終的に国民の健康な生活の確保に少しでも貢献できればと考えています。

平成9年卒業 **高木 洋志**

カナダ オンタリオ州 一般開業医 (Coldwater Dental Office)



岡山大学歯学部在籍時から海外での生活を目標の一つにしており、卒後カナダへ移住。Western University 歯学部を卒業し、現在はカナダオンタリオ州のColdwaterという町で一般開業医として地域医療に携わっています。歯科医師という仕事を通じて異国の地で生活ができる事に喜びを感じながら日々の生活を送っています。

平成19年度卒業 **伊東 孝**

厚生労働省 医政局 経済課 医療機器政策室 室長補佐



医系技官として医療機器の保健適用及び安定供給に関する職務に従事しています。前職では岡山大学病院の新医療研究開発センターで様々な臨床研究や基礎研究を行いました。歯学部を卒業しても歯科医療現場だけが進路ではありません。歯科医師として日々の臨床に携わるだけでなく、臨床現場を作るために必要とされる色々な所へ飛び込んでみてください。岡山大学にはあなただけにしか体験できない世界への入り口がきっとあります。

同窓会のご案内

大学と同窓会は車輪の両輪。連携と協調を礎に活動しています。卒業生にとって同窓会は“ふるさと”です。日本各地の同窓会県支部・地区支部が同窓生をサポートします。同窓会は奨学金制度など在校生の福利・厚生も支援しています。



歯学部同窓会長
千原 敏裕
昭和63年卒業

学生たちを見守る温かい手

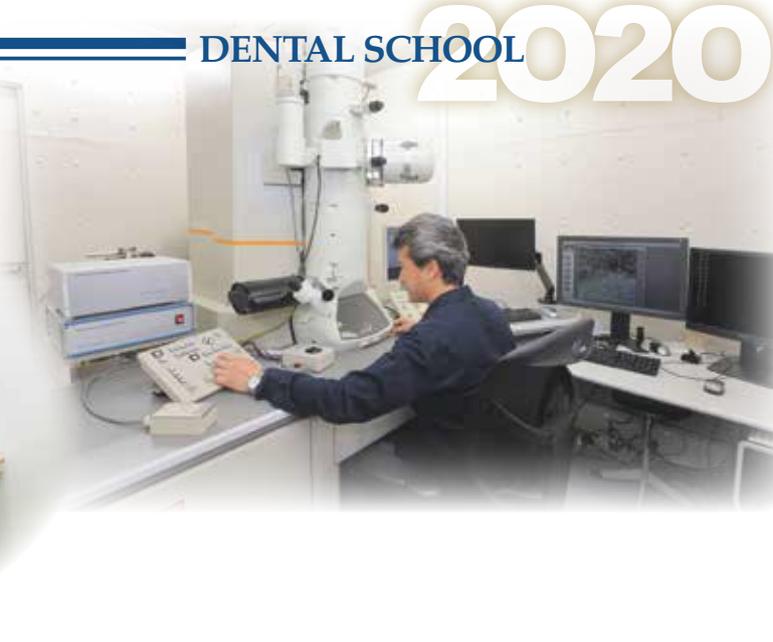
心と身体の健康管理をサポートします。

保健管理センター
(鹿田室)

快適な学生生活を
力強くバックアップします。

学務課教務グループ(歯学部担当)

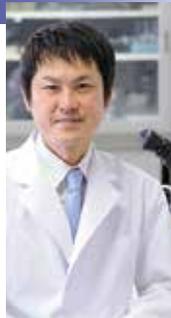
研究室 紹介



口腔形態学

骨や歯を形づくる 細胞・組織の美しさを知る

形態学あるいは解剖学は、形・構造に着目して生体の営みを解明する生命科学の基礎をなす学問です。教育では、歯や歯周組織を含む全身の細胞・組織の微細構造と機能について講義と顕微鏡実習を担当します。研究では、骨や歯を構成する細胞・組織の発生メカニズムおよびホルモンや機械的刺激への応答について、光学顕微鏡・電子顕微鏡や最新の分子生物学的手法を用いて解析しています。骨や歯を中心とした細胞・組織の営みをミクロの眼で探求し、歯科領域疾患の病因解明や治療法開発の基礎を築くことを目指しています。



岡村 裕彦 教授
三重県立
宇治山田高等学校
平成4年卒業

口腔機能解剖学

口腔機能解剖学分野の仕事

顔は、消化器系の口・顎・顔面で構成し、呼吸器系の鼻、特殊感覚の味覚（口）・視覚（眼）・嗅覚（鼻）・平衡聴覚（耳）の窓口があります。口は、顎の骨・筋と舌筋、歯の協力で咀嚼し、顎下腺などの大唾液腺や口の粘膜と舌の中にある小唾液腺の唾液で消化・嚥下させます。また、口は、歯・口腔・鼻腔の協力で会話のための音をつくり出す（構音）。通常、口は閉じていますが、呼吸の補助としても機能します。私たちはこのような多種多様な器官が常態を制御するために、相互のネットワークをどのように機能させているかを探求しています。

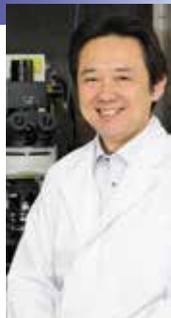


沢 禎彦 教授
北海道札幌西高等学校
昭和57年卒業

口腔生理学

口腔機能の解明から 健康長寿への道筋を開く

我々の体は様々な器官・臓器から構成され、また各器官は様々な細胞から構成されます。生理学では、分子、細胞、器官、個体レベルでの機能を追求するとともに、それらを統合するシステムも重要な研究対象です。当分野では、全身及び口腔に関する多彩な機能とその土台となる様々な機構を理解するための講義・実習を行っています。研究では、口腔機能としての味覚や唾液、摂食に関わる神経機構などを分子レベルから個体レベルに至るまで追求し、その理解に基づいた健康増進のための新たな方策を模索していきます。



吉田 竜介 教授
京都府立
八幡高等学校
平成4年卒

口腔生化学

生命分子のネットワークを解明し 次世代の歯科医療に道を拓く

現代の生化学は、今や分子生物学、ゲノム学にまで広がる広大無辺な学問です。当分野では皆さんに生命の分子基盤とともに、歯科医療に特化した生化学を学べる講義を提供します。また、能動的学習プログラムである演習、先端技術であるDNA診断、遺伝子操作が体験できる実習も用意しています。研究面では世界有数のCCNファミリー分子研究の拠点として、グローバルに共同研究を続けています。この分子は様々な生体分子をネットワーク的に操り、組織再生、癌などの難病に深く関わる重要分子で、再生医療への応用もいま期待されているところです。

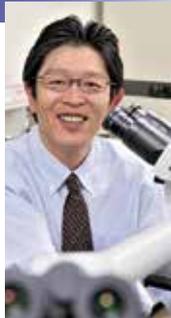


久保田 聡 教授
ヴィアートル学園洛星
高等学校
昭和55年卒業

口腔病理学

疾患を診る・病気の 原因とメカニズムの解明を目指す

人間は多種多様な病気に罹患しますが、病気の原因（病因）、病気の成り立ちと経過（病態）を知ることなしに治療は不可能です。病理学とは疾患の病因と病態を探究する学問で、患者が罹患している病気の診断（病理診断）を行う重要な役割を担っています。講義では身体に生じる様々な疾患について学び、実習では顕微鏡を用いて病変部組織を観察し理解を深めます。研究では口腔腫瘍の病態メカニズムの解明と口腔組織の再生に取り組んでいます。組織形態学と分子生物学的手法を元に幹細胞を用いた組織再生、腫瘍病態の研究を進めています。



長塚 仁 教授
開成学園高等学校
昭和56年卒業

口腔微生物学

微生物と身体のせめぎ合いを 分子レベルから追及する

我々は数多くの微生物に囲まれて生きています。有益な微生物も多いですが、一部の微生物は病原体として我々に感染症を起こします。歯科領域にも種々の感染症が起り、口腔内の代表的な感染症がう蝕や歯周病です。当分野では病原体となるウイルス、細菌あるいは真菌などの微生物、病原体から体を守る免疫をはじめとした防御機構、感染症が生じるしくみに関する講義や実習を担当しています。そして病原体の検出法や感染症の診断法の確立、抗微生物薬の開発、またワクチンを始めとする予防法の開発を目指した幅広い研究を行っています。



大原 直也 教授
大阪府立
市岡高等学校
昭和58年卒業

歯科薬理学

癌から骨疾患まで、 新薬創出を目指す！

薬理学は、薬物が生体へ及ぼす影響や効果を「薬の理（ことわり）」として分子レベルから個体レベルまで総合的に明らかにし、薬物療法の科学的な基盤を成す学問領域です。当分野では、将来、歯科医師として活躍するために必要な薬物療法の基礎知識だけでなく、医療現場で自らの確に判断し、安心・安全な薬物治療を提供できる歯科医師の育成を重視して教育に当たっています。また、癌や口腔領域における様々な疾患に対する新たな治療戦略の確立を目指した基礎医学研究および創薬研究を進めています。



宮崎 邦彰 教授
宮崎県立
宮崎西高等学校
昭和 57 年卒業

生体材料学

未来の歯科医療を見据え、 新しい材料、技術を創る

生体材料学分野では、歯科医療において重要な役割を担う医用材料、医用技術の開発を行っています。逆の観点でいうならば、新しい材料や技術を開発することで、新しい歯科医療を創ることができます。近年、材料工学に機械工学、電子工学、細胞生物学、分子生物学など様々な学問、知識を組み合わせていることが進んでいます。その結果、これまでにない次世代の材料、技術の創出機運が高まっています。一緒に新しい歯科医療を創り、世界中の人々の幸せに貢献してみませんか？



松本 卓也 教授
高槻高等学校
平成元年卒業

応用情報歯学

医療情報を適切・有効に活用し、 歯科医学・医療の発展に寄与する

2017 年、新規に設置された分野で、歯科医療情報学、医療経済学、医療倫理学、そして歯科法医学を担当しています。当分野は医療情報学と情報工学を駆使することで、歯科医療と歯学教育・研究における諸課題を解決し、その持続的発展に寄与することを目標としています。医療人として適切かつ高い倫理観を備え、さまざまな領域に応用可能な情報活用能力を身につけた医療人を育成します。また、近年、必要性が高まっている有事の歯科医療体制への協力や身元確認（歯科的個人識別）への協力を可能とすべく、人材育成と研究を行っています。



柳 文修 教授
兵庫県立
長田高等学校
昭和 63 年卒業

歯科保存修復学

接着、審美、再生歯学を 総合した歯科治療を目指す

歯科保存修復学分野では、むし歯の治療を中心とした歯科保存修復学の教育、臨床、研究を担当しています。教育は、歯学部学生に歯科保存修復学の講義と、最新のシミュレーションシステムを使用した実習を行い、臨床実習を担当しています。臨床では、審美性修復材料による歯治療や知覚過敏の治療、歯内治療などを行っています。研究としては、象牙質や歯髄を再生させる治療法を開発するとともに、歯に接着する審美性修復材料を用いた新しい歯治療法の開発を行っています。さらに新しい歯診断法 OCT の開発も行っています。



吉山 昌宏 教授
大阪府立
茨木高等学校
昭和 51 年卒業

歯周病態学

「人材育成、社会に役立つ研究、 SoLAを目指す臨床」そんな想いで 活躍している研究室です。

口の中のバイオフィルム感染症（歯周病と歯内疾患）は、口腔のみならず全身の臓器に悪影響を及ぼします。私達は、「歯の保存」から「全身の健康」へと、歯周感染の病態や制御方法を教育・研究します。そして、広く医・薬・工・農学領域の研究者と連携し、多面的に口腔感染を制御します。さらに、地域の病院においても医科歯科連携医療を展開し、SoLA (Soft-Landing Aging) を目指した臨床・研究を実践して、生涯を支える医療人を育成しています。また、研究成果の社会実装を目指しています。詳細は、『岡山歯周病態学』で検索！



高柴 正悟 教授
広島県立
福山誠之館高等学校
昭和 55 年卒業

インプラント再生補綴学

臨床事実に基づき、 分子生物学的手法を駆使して 新しい歯科補綴学を切り開く

当分野は、インプラント義歯・クラウンブリッジ補綴学の講義、実習を担当しています。補綴学とは、歯や口の中の組織の欠損により喪失、障害した形態と機能の回復を目的とした学問ですが、我々は人工物で欠損回復してきた従来の手法を大きく改革し、バイオエンジニアリングを駆使して歯や口の中の組織再生を誘導する技術を開発すべく努力しています。また、顎関節症・口腔顔面痛、睡眠時無呼吸症候群などに対する先進的な治療法開発や、デジタル技術を統合した高度補綴治療、高齢者の栄養障害の問題解決などにも精力的に取り組んでいます。



窪木 拓男 教授
岡山県立
井原高等学校
昭和 55 年卒業

咬合・有床義歯補綴学

「楽しくおいしく食べる」を ストラテジーに超高齢社会を迎え撃つ

私たちの教室は、総入れ歯とか部分入れ歯といった有床義歯の講義と実習を担当しています。実際の治療は、一般的な入れ歯から、インプラント、摂食嚥下障害、顎顔面補綴や顎関節の治療といった多岐にわたる治療を行っています。そして、それを支える脳機能研究、口腔軟組織や骨組織の生化学的研究とバイオエンジニアリング、摂食嚥下障害や顎関節症の治療に関する研究を行っています。また世界に先駆けて、ガンで舌を失った人が会話を取り戻すための『夢の会話プロジェクト』を立ち上げて活動しています！一度 HP (<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~2hotetsu/>) をご覧ください。



皆木 省吾 教授
岡山県立
岡山操山高等学校
昭和 51 年卒業

歯科矯正学

審美、機能の両面からみた 最新の歯科矯正学を学ぼう

矯正歯科治療は歯並びを整えることによる機能的な問題の解決のみならず、患者さんの審美的な問題に対する要求を満たすことを治療目的としています。これを成し遂げるために、当分野では従来の矯正歯科治療法はもとより、歯科矯正用アンカースクリューや歯の裏側からの装置を用いた治療、骨延長術等を併用した最新の治療方法を用いて患者さんの様々なニーズに応える治療を行っています。また、「口唇裂・口蓋裂総合治療センター」を医科・歯科連携のもと設置し、患者さんの出生直後から成人までの長期間にわたる一貫した総合治療も行っています。



上岡 寛 教授
徳島県立
城ノ内高等学校
昭和 58 年卒業

顎口腔再建外科学

Oral Scienceの探求とそれに基づいた口腔外科医療の実践

咀嚼や嚥下、呼吸などの生命を維持する上で重要な機能を担う口腔は、歯を支える顎骨やその周囲の筋肉、神経など様々な器官が調和して、これら複雑な運動を行っています。そして、構成する各器官のそれぞれに多くの疾患（先天異常、発育異常、腫瘍、炎症など）が存在します。口腔外科学は、これら口腔に発生する様々な疾患の治療を行う分野で、われわれ顎口腔再建外科学は、特に、機能や形態の復元・再建に専門性を置いた臨床分野です。こういった疾患は、すべて生命科学を基礎とした知識をもとに診断・治療が行われますが、当教室ではそれら口腔に関わる科学（Oral Science）を探求することを目標とし、これら科学的見識を備えて、幅広く活動できる歯科医師を育成することに力を注いでいます。



飯田 征二 教授
奈良県立
奈良高等学校
昭和54年卒業

口腔顎顔面外科学

Save your Life, Keep your Smileを目指した口腔外科医療

当教室は口腔外科（病態系）を担当する臨床系分野です。口腔外科は抜歯やインプラント、顎の骨折や変形、口腔粘膜疾患、口腔癌や顎骨腫瘍、顎関節症など口腔顎顔面領域の病気の診断・治療が専門です。多くの病気を扱いますが、病因の理解なくして診断・治療はもとより新医療は生まれません。臨床教育では科学的根拠に基づく診断・治療能力の習得を重視しています。臨床実習では外来診療のみならず医科系と同じ施設で入院患者の病棟実習や手術見学を行っており広い知識を習得できます。詳細はHP (<http://okomfsweb.ccsv.okayama-u.ac.jp/index.php>) をご覧ください。



佐々木 朗 教授
岡山県立
岡山大安寺高等学校
昭和50年卒業

歯科放射線学

画像診断・口腔癌保存治療をテーマに歯科放射線学の分野を切り開く

当教室は、歯科放射線学の講義と実習を担当しています。診療にはまず診断が必要であり、診断の中で画像診断は非常に大きな比重を占めます。医用画像機器の種類豊富さと質の向上は目覚ましいものがあり、これらの機器を理解し、活用できるように指導します。また、審美性と機能性の保全のために口腔癌の小線源放射線治療も行い、口腔癌の保存的治療を目指しています。

研究では、病変内の経時的血行動態を把握できるダイナミックMRIによって、口腔癌変の非観血的な質的診断能の向上を目指しています。分子イメージングおよび個人識別に関する研究も進めています。



浅海 淳一 教授
愛媛県立
今治高等学校
昭和52年卒業

予防歯科学

健康人を創造し、健康社会を実現する

困っている人を救うのは医療人の醍醐味です。一方、「いつまでも健康でいられる人」を一人でも多く増やすことも医療人の責務です。それが予防歯科です。

講義を通じて、環境問題、健康格差、医療経済などの社会的問題を一緒に考えます。臨床では、歯科疾患の予防法を習得してもらいます。予防に繋がる研究であれば、咬み合わせ、唾液、栄養など多角的な視点から取り組んでいます。最も特徴的なのは、学外活動でしょう。保健所、学校、職場、地域での集団健診や保健教育、そして大規模疫学調査を通じて、社会全体の健康を追求します。



森田 学 教授
広島大学附属
福山高等学校
昭和51年卒業

小児歯科学

子どもたちの健全な口腔内環境作りを目指した小児歯科医療

小児歯科学分野では、成長発育に伴い変化する口腔内環境を健全な状態に保つための歯科疾患の予防と治療についての知識と技術を学びます。

小児歯科におけるゴールは健全な永久歯列の完成です。乳歯列から永久歯列へと長期間にわたり、むし歯の治療、外傷歯への対応および歯並びに関する咬合誘導を習得します。研究面では、むし歯の原因菌に関する分子生物学的研究を中心にを行っています。特に口腔内バイオフィーム（デンタルプラーク）の形成メカニズムの解明に取り組んでいます。



仲野 道代 教授
山口県立
宇部高等学校
昭和61年卒業

歯科麻酔・特別支援歯学

支援を必要としている人たちに安全・安心・快適な歯科医療を

超高齢社会です。高血圧、心疾患、糖尿病などの病気を持った患者様が増えてきました。このような患者様に安全、安心、快適な歯科治療を提供すること、さらに、医療支援を必要としている人たちが、その地域で十分な歯科治療を受けることができるような、成熟した地域医療システムを構築することがますます重要になってきています。

当分野は、歯科治療時の「安心」「安全」「快適」を科学する歯科麻酔学と「スペシャルニーズ歯科センター」と連携した特別支援歯学を専門とする臨床歯学研究分野です。



宮脇 卓也 教授
兵庫県立
小野高等学校
昭和55年卒業

総合歯科学

提供する歯科医療の質の向上を常に目指す歯科医師の養成

当教室は、歯科医療に携わる際に必要な基本的事項についての講義を歯学部学生に行っています。また病院では、歯科医師法で必修化された歯科医師免許取得直後の歯科医師の臨床研修での教育を担当し、医療人としてのプロフェッショナリズムや基本的な診療技能、また生涯にわたって自ら学び知識と技術を向上させていく能力が習得できるように指導しています。このような教育、臨床、またそれらに関する研究の成果を通して、提供する歯科医療の質の向上を常に目指す姿勢を学んでもらい、明日を担う歯科医師を養成したいと考えています。



鳥井 康弘 教授
大阪府立
高津高等学校
昭和50年卒業



サークル紹介

鹿田ボート部

ボート部です！ ボートって珍しいかもしれません。ボートは結構奥が深いです。漕ぐの楽しいですよ！ 皆で夏の大会を目指して頑張っています。

ほとんどが大学から始めた人なので、大学に入って何か新しいことがしたいなと思っている人には特におすすめです。マネージャーさんも大大大歓迎です！ ボート部の練習は基本的に朝練です！ 朝が苦手だなと思った人、大丈夫です、慣れます（笑）。朝で終わるので午後の時間を自由に使えるし、規則正しい生活を送れます！ 少しでも興味がある人、試乗会をしているので、是非漕いでみて下さい！



鹿田弦楽アンサンブル animato

私たちは鹿田唯一の弦楽サークルで、年に3回、岡山大学病院で患者さんのためにコンサートを開催しています。Animatoとは「明快に」とか「快活に」という意味の音楽用語です。その名前の通り、音楽を通して患者さんに元気を届けることを目標に活動しています。大学行事などで演奏することもあります。メンバーは歯学部・医学部の学生だけではなく、津島キャンパスの学生なども参加しています。練習は、コンサートの1、2カ月前から週に1回ほど、集中して行います。そのため予定が立て易く、部員のほとんどが他のクラブと兼部をしています。



歯学部バドミントン部

私達バドミントン部は、毎年夏に開催されるオールデンタルと呼ばれる大会に向けて日々練習に取り組んでいます。大学からバドミントンを始めた人がほとんどで、お互いに教え合いながら活動しています。大会では団体戦メンバーのみならず部員全員が試合に出場することができ、毎年一丸となつて盛り上がります。その他にも、春は遠足、夏はバーベキュー、冬にはスノーボに行ったりと、楽しいイベントも沢山あります！ バドミントン初心者も経験者もどちらも楽しめる部活なので、是非一度遊びに来てみてください！



鹿田空手道部

僕たち鹿田空手道部は、医学部・歯学部の部員計16人で、月・水・金曜日の6時から8時まで鹿田キャンパスの武道館で練習を行っています。部員のほとんどが初心者で、女子も多数在籍しています。大きな大会は年に2回あり、そのどちらでも良い成績を残しています。「武道をやっている人って怖いんじゃないか」と思うかもしれませんが、優しくて面白い先輩ばかりで、和気あいあいとクラブ活動を行っています。その他にも、キャンプやスノーボ&スキーなど、イベントも豊富です。興味がある人もない人もぜひ一度、武道館に来て下さい！



鹿田弓道部

鹿田弓道部は、医学部生と歯学部生が在籍する、鹿田一の部員数を誇る部です。普段は自主練習が主体で、各々が自分のペースで時間を上手く使って練習に励んでいます。在籍する部員の殆どが大学から弓道を始めた初心者ですが、練習を積み、経験の有無を問わず様々な試合で好成績を残しています。

弓道の格好良さに惹かれた方、スポーツに自信は無いけれど何か新しい事に挑戦してみたい方、個性あふれる弓道部で楽しい時間を過ごしませんか？ 勿論、もっと弓を引きたい経験者も大歓迎です！ ぜひ弓道場に来てみてください！



歯学部剣道部

私たち歯学部剣道部は、週3回鹿田キャンパス武道場で稽古を行っており、現在歯学部部員の人数は少ないですが、医学部の学生や留学生と合わせて20名程で学部や学年で分け隔てなく仲が良く、活気のある雰囲気です。

春・秋の関西歯医歯薬学生剣道大会、中四国歯薬学生剣道大会、そして夏のオールデンタルと年間を通じて多くの大会があり、鹿田剣道部は男女とも各大会の上位を席巻しています。

最近では初心者から剣道を始め部員も多くなり、そのような部員も大会で好成績を収めており、充実した活動を展開しています。



鹿田茶道部

私たち鹿田茶道部は、医学科、歯学科、保健学科の3学科の学生が在籍しています。ほとんどが大学から茶道を始めた初心者ですが、みんな仲良く楽しく活動しています！

週2回の活動では、冷暖房完備の部室で、美味しいお菓子とともに稽古をしています。5月と11月には、お客様を招いてお茶会を開催しています。

茶道を通して礼儀作法を学ぶことはもちろん、着物の着付けも身につけることができます。さらに、茶道に関する道具や和菓子を作る体験をするなど、楽しいイベントも沢山ありますよ！ 少しでも興味のある方はぜひ茶道部へ！



準硬式野球部

私たちの準硬式野球部は、夏に行われるオールデンタルという大会で毎年好成績を残しており、一昨年は優勝でした。

そんな野球部ですが、部員の大半が大学から野球を始めた初心者です。また、人数も少ないので、効率よく練習ができるように工夫して、協力し合いながらやっています。このように全員が一丸となって取り組んでいるため、部員同士の仲が良く、部活動以外にもBBQや旅行などのイベントを多く開催しています。

こんな野球部に興味のある方はいつでも大歓迎なので、ぜひ遊びに来て下さい。



鹿田軽音楽部

私たち鹿田軽音楽部は、部員同士が学科や学年の枠を超えて様々なバンドを組み、定期的にライブ活動を行っています。経験者も初心者も、音楽好きなら大歓迎！ 練習時間はバンド単位で調整できるため、熱心に毎週練習しても、気軽に月数回の練習をしても大丈夫。有意義な学生生活を送ることができますよ。

また、歯学部医学部合同の部クラブ活動であるうえに、他大学との合同ライブもあり、沢山の音楽仲間と出会えます。バンドでステージに立ちたいあなた！ ジャズ・ブルースのセッションで盛り上がりたあなた！ 音楽という一生の宝物を手に入れましょう！



歯学部硬式庭球部

私たち硬式庭球部は、夏のオールデンタルという大会に向けて、月・水・土曜日の週3回、練習に励んでいます。歯学部のクラブ活動の中では最も部員の数が多く、みんな楽しく和気あいあいとして真面目に練習しています。部員の多くはテニス初心者ですが、初心者でも先輩が丁寧に教えるので安心です！ また、練習だけではなく、春は花見、夏は海・キャンプ、秋は飛ばして、冬はスキー&スノーボなど、たくさんの企画が目白押しです！ 是非一度遊びに来て下さい！



鹿田美術部

鹿田美術部は岡山大学医学部、歯学部、薬学部の学生合計16名で、春と秋の部展に向けて日々活動しています。デッサン、水彩、油彩から切り絵、立体作品、アニメーションに到るまで幅広く創作活動を行いながら、有志でワークショップを行ったり、美術館を巡ったりしています。部室には美術に関する資料や道具も豊富にあり、これから始めたいという方も、すでに経験のある方も、とても楽しく創作できます。他のクラブと兼部しやすく、いつでも参加でき、自分の好きな場所でマイペースに活動できるので、興味のある方は是非いらしてください。



鹿田写真部

私たち鹿田写真部は、医学部・歯学部の学生だけでなく、薬学部や工学部大学院のような津島キャンパスからの学生も在籍しています。部会は週1回で、お互いに写真を見せ合って評価したら、カメラのレクチャーを受けたり、お菓子を食べながら談笑したりしています。また、年3回の展示会で写真を沢山の人の目に見てもらえることができます。その他にも、部員みんなでの島根での夏合宿や、有志による大久野島での撮影会なども行いました。写真経験者もいますが、部員のほとんどは大学からの初心者なので、気軽に入部して下さいね！



- ◆柔道部
- ◆卓球部
- ◆ボウリング部
- ◆水泳部
- ◆サッカー部
- ◆D.M.C
- ……他

岡山案内

●岡山エリアマップ

県北エリア



西の軽井沢と称される蒜山高原や、湯原・湯郷などの温泉地など、自然の魅力がいっぱいの県北エリア。県北の中心都市津山市の鶴山公園の桜や、最近では蒜山焼きそばや津山ホルモンうどんなど全国でも人気のB級グルメも有名です。

倉敷エリア

白壁の町、文化の町として有名な倉敷。美観地区の町並みは、古き情緒を今も色濃く受け継いでいます。白壁の屋敷、倉敷川沿いの柳並木、日本初の私立西洋美術館「大原美術館」…、そんな倉敷の象徴的な風景は風情があります。また、駅と直結したアウトレットモールなど、あたらしい魅力もいっぱいです。



県南・備前エリア

我が国最初の庶民学校で国宝指定されている閑谷（しずたに）学校や、千年の歴史を持つ備前焼で有名な備前エリア。また、日本のエーゲ海と称される牛窓や、海水浴場など穏やかな瀬戸内海で、ちょっとしたリゾート気分も味わえます。



岡山エリア

岡山市は、日本三名園の一つである後楽園など豊かな緑と文化が調和した生活しやすい都市空間が魅力です。市内はほぼ平地であるため、自転車での移動もラクです。また、マスカットや白桃などフルーツの産地としても全国的に知られています。「晴れの国おかやま」と言われるほど晴れの日が多く、台風などの災害も少ないとても暮らしやすい街です。



交通アクセス

岡山駅まで JR 利用

- ▶新大阪から新幹線で約47分▶神戸から新幹線で約31分
- ▶広島から新幹線で約34分▶高松からJRで約1時間

岡山駅から

- ・岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バス「大学病院」行きが構内に入ります(地図内 --- 線) 他・岡電バス
- ・岡山駅前(ドレミの街または高島屋入口)から循環バスで「大学病院入口」下車
- ・岡山駅前タクシー乗り場からタクシーで約10分
- ・岡山駅から「清輝橋」行き路面電車で12分「清輝橋」下車、西へ徒歩5~10分

岡山空港から

- ・「岡山市内方面」行バスに乗り、「岡山駅」で下車、岡山駅からは上記交通機関を利用

岡山まで山陽自動車道利用

- ・岡山ICで降り岡山市内方面へ、または、早島ICを降り岡山市内方面へ

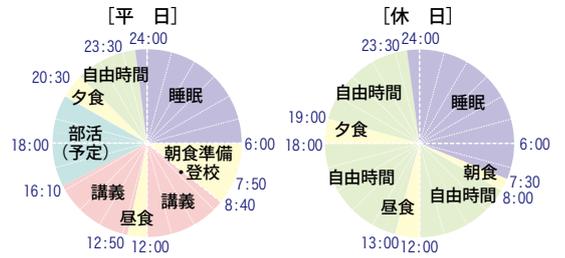


わたしの岡大ライフ Information of Campus Life

▶ 様々な交流で大学生活を実感！ ……歯学部1年次生（岡山県出身）Aさんの場合【自宅通学】

私は自宅生です。晴れの日には自転車、雨の日には電車とバスで通学しています。入学すると沢山のクラブ活動の勧誘が待ち構えていて、大学生になったんだな、という実感が湧きました。積極的に新歓に参加して先輩方との交流を深めましょう。1年次のうちは時間に余裕があり、自動車教習所に通ったりアルバイトをしたり、時間を有効に使えます。岡山大学は敷地がとても広いので、時間がある時に散歩してみると色々な発見ができて、リフレッシュもできます。春は、大学内に植えられた桜の花がとてもきれいなので、ぜひお花見を楽しんでください。 ■通学時間／30分（自転車）

■収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥0
仕送り	¥0
その他	¥0
■支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥8000
通信費	¥0
交通費	¥5000（雨の日）
貯蓄	¥0
その他	¥0



▶ アルバイトや部活で充実の時間を……歯学部2年次生（兵庫県出身）B君の場合【自宅外通学】

■収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥50,000
仕送り	¥110,000
その他	¥0
■支出の部	
家賃	¥65,000
光熱費	¥0
食費	¥20,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥45,000
その他	¥30,000



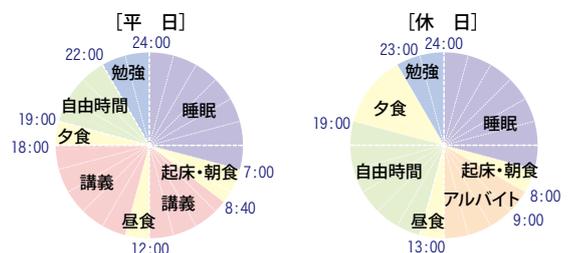
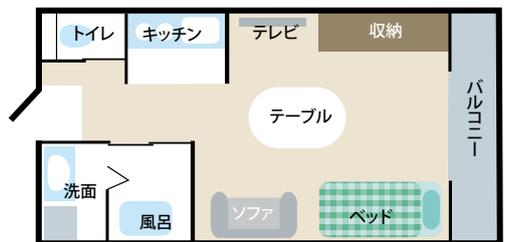
私は鹿田キャンパスの近くで一人暮らしをしています。歯学部のクラブ活動に参加し、またアルバイトもしているので、平日の授業後はそのどちらかでスケジュールが埋まっています。基本的に歯学部の1年次はカリキュラムに余裕があるため、アルバイトや自分の好きなことに時間を多く費やすことができます。学年が上がるにつれて講義や実習、もちろんテストも多くなり、アルバイトをやりづらくなります。そのため私の友人の中には、1年次の余裕がある内に貯金を増やしておこうと、複数のアルバイトを掛け持ちする人もいます。 ■通学時間／10分（自転車）



▶ ODAPUS 準備に向けて時間を有効に…歯学部3年次生（岡山県出身）C君の場合【自宅外通学】

3年次になると、授業の科目数が増え、各科目の内容も濃いので、2年次の時と比べて授業のない時間帯が格段に減ります。勉強が第一優先なのはもちろんなのですが、サークルとアルバイトに、また3学期のODAPUSプログラムの準備に、と並行して行うことが多くあります。日々、自分の時間の使い方を考えながら生活しています。しかし、効率ばかり考えていると人との繋がりや貴重な経験などをないがしろにしてしまうので、時には遠回りをしてでも自分自身であらゆる物に触れて、学べるように時間を取ることも大切だと感じています。 ■通学時間／20分（自転車）

■収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥30,000
仕送り	¥100,000
その他	¥0
■支出の部	
家賃	¥60,000
光熱費	¥10,000
食費	¥40,000
通信費	¥5,000
交通費	¥5,000
貯蓄	¥10,000
その他	¥0

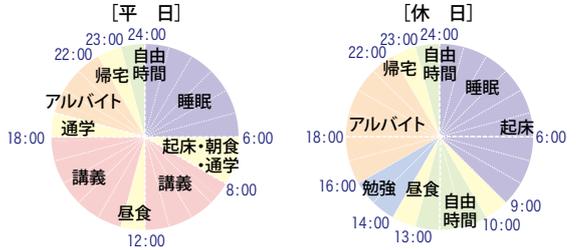


▶ 家族や友人、恵まれた環境に感謝！……歯学部4年次生（香川県出身）D君の場合【自宅通学】

私は香川県の自宅から通学しています。朝早いことがつらいこともありますが、電車通学ではまとまった時間を取れるので予習・復習や読書などができて有意義な時間でもあります。3年次では、多くの専門科目や10～11月の自由研究演習（研究室配属）など、忙しくも充実した日々を送ることができました。より忙しくなる高学年を見据えてお金の管理に気をつけたり、家族や地元の友人たちとの時間を大切にしています。6年間恵まれた環境で勉強させてもらえることに感謝して、4年次もがんばりたいです。

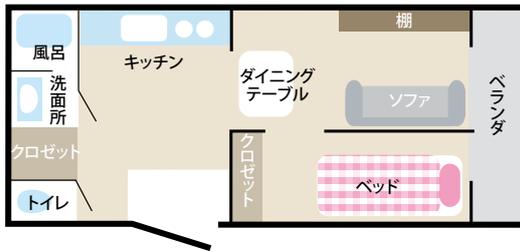
■収入の部	
奨学金	¥105,000
バイト代	¥50,000
仕送り	¥0
その他	¥0
■支出の部	
家賃	¥0
光熱費	¥0
食費	¥10,000
通信費	¥10,000
交通費	¥20,000
貯蓄	¥50,000
その他	¥65,000

■通学時間／1時間20分（電車・バス）



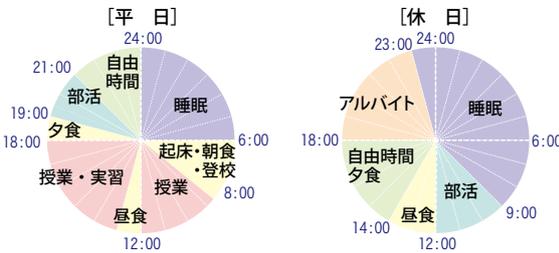
▶ 臨床実習開始で新たな挑戦……歯学部5年次生（奈良県出身）Eさんの場合【自宅外通学】

■収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥50,000
仕送り	¥150,000
その他	¥10,000
■支出の部	
家賃	¥65,000
光熱費	¥12,000
食費	¥30,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥33,000
その他	¥70,000



5年次生では、7月までは今までと同じように授業と実習があり、7月にあるCBT（Computer-Based Testing）とOSCE（Objective Structured Clinical Examination；客観的臨床能力試験）に無事合格すると、臨床実習が始まります。その後はこれまでは全く異なる環境になるかと思いますが、同級生と励まし合いながら精一杯取り組んで行きたいと思っています。クラブ活動から引退するので、続けているヨガやアルバイトで気分転換できたらいいなと思っています。

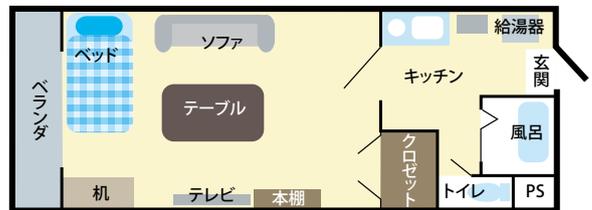
■通学時間／10分（自転車）



▶ 国家試験全員合格を目指して！……歯学部6年次生（大阪府出身）F君の場合【自宅外通学】

6年次では、5年次に引き続き9月まで臨床実習があります。臨床実習では、講義や実習で学んだ知識と技能を基に、実臨床の現場に踏み込んでいくことになります。実習中は様々な困難に直面することもあります。患者さんのご理解と担当の先生方のご指導を受けながら、日々勉強させて頂いています。臨床実習後には卒業試験と国家試験が控えているため、臨床実習の合間を縫いながら勉強していく必要があります。同級生と助け合ってモチベーションを維持しつつ、全員合格を目指して邁進していきます。 ■通学時間／5分（自転車）

■収入の部	
奨学金	¥0
バイト代	¥0
仕送り	¥113,000
その他	¥0
■支出の部	
家賃	¥48,000
光熱費	¥11,000
食費	¥36,000
通信費	¥0
交通費	¥0
貯蓄	¥10,000
その他	¥8,000





SHIKATA CAMPUS

鹿田キャンパスは、歯学部、医学部および薬学部の一部からなる医療系キャンパスです。明治3年(1870)岡山藩医学館に始まる歴史あるキャンパスで、大正時代の赤れんがの医学部正門など、当時を思わせる建築物も多く点在しています。

岡山市中心部にあり、交通の便もよく周囲には大型スーパーや飲食店などもたくさんあり、生活しやすい立地です。



鹿田キャンパス



① 歯学部棟・外来診療棟

この建物では歯学部の授業が行われる他、岡山大学病院・歯科の外来診療棟を兼ねており、1日平均650人以上の患者さんが診療に訪れます。



患者様を含めて、とても多くの人が入り出りする門です。構内へのバスも通ります。

④ 医学部正門



赤煉瓦の医学部正門は、大正11年岡山医科大学が設立した頃のもので、岡山藩医学館を起源とする歴史を感じさせます。



鹿田キャンパスも津島キャンパスも、キャンパス敷地内は建物内外を問わず全面禁煙です。

キャンパス紹介



5 医学部記念会館

記念会館には、食堂や大学生協のコジカショップ、保健管理センター（鹿田室）等が入っています。コジカショップでは、医歯学系の専門書やパソコン用品もあります。

6 医歯薬融合型教育研究棟

法医学解剖関係施設、共同実験室、医歯薬各分野の研究室・演習室やチーム医療シミュレーション教育、臨床能力のスキルアップのための設備を整備した医療教育統合開発センター等が入る医・歯・薬学の専門知識を集結した学際的研究・教育施設です。（生体材料学分野が配置されています。）



7 附属図書館鹿田分館

中央、鹿田分館合わせて200万冊を超える図書と4万種の雑誌、様々な電子資料及び映像音響資料を所蔵。情報化、国際化、生涯学習に対応した開かれた大学図書館としてサービスを提供しています。新装後はカフェテラスも設置されます。ますます利用しやすくなりました。



1 一般教育棟

医学部・歯学部の学生も教養教育科目はここで受講することになります。学生支援センターや国際センターなどもこの建物の中にあります。



2 大学会館

喫茶コーナーやラウンジ、カフェの他、課外活動施設にはホールや各種集会所があり、サークル活動等に活用されています。

津島地区にある福利厚生施設で、生協のレストランやカフェの他、コンビニやブックストアなどが入っています。

3 マスカットユニオン

4 ピオーネユニオン



5 ピーチユニオン



6 時計台



7 Jテラス



津島キャンパス

津島キャンパスは、JR岡山駅から北に約2.5km、岡山市街地に総面積635,308㎡の自然豊かな広大な敷地に、9学部と研究施設、附属図書館中央館、テニスコート・野球場・陸上競技場等の体育施設、食堂・カフェテリア・コンビニ等の生協施設などが整備されています。

大学へのメインストリートの南北道路（岡山大学筋）は、附属図書館の時計台を正面に、左右のいちょうの並木道が岡山大学へと誘ってくれます。

TSUSHIMA CAMPUS



病院紹介

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる

岡山大学病院（歯科）



歯科系代表副院長
宮脇 卓也 教授
兵庫県立小野高等学校
昭和 55 年卒業

“高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てる”は、岡山大学病院の理念です。岡山の土地柄にとっても合っています。

岡山大学病院は、医学部の附属病院として 140 年余にわたる歴史と伝統を有している国内屈指の大学病院です。臓器移植などの先進的な医療で有名ですが、中国・四国地区で唯一の臨床研究中核病院に選定されており、全国的にも有数の先進的医療の要となっています。岡山大学病院の中での歯科系診療部門は、矯正歯科や予防歯科などの 12 の専門診療科と、スペシャルニーズ歯科センターおよび医療支援歯科治療部など、歯科特有の中央施設また医科と連携したセンターがあります。さらに、最先端の専門外来が 12 もあり、全国でも有数の充実した診療体制を整えています。特に、病院が医科と歯科が統合している利点を活かし、教育、研究、および診療の分野で医科との連携が非常に強くなっており、それが岡山大学歯学部の特徴のひとつになっています。

このような充実した診療体制のある病院で、歯学部の学生の皆さんは 1 年次に早速、“早期見学実習”という科目で、臨床の現場に触れながら勉強することができます。5～6 年次には、“診療参加型臨床実習”という科目で、教員の指導のもと“Student Dentist”として患者さんと接しながら、歯科医師になるのに必要な実践力を習得します。岡山大学ではこの臨床教育に力を入れており、この中では“在宅・訪問歯科診療実習”もあり、社会の高齢化の進展に対応できる臨床能力を涵養するためのカリキュラムが組まれています。卒業後の卒後研修体制も岡山大学病院は大変充実しており、多くの学生がそのまま岡山大学に残って研修をしています。

岡山大学で実践力を身に付け、高度な技術を学び、そして医科とも連携できる優れた歯科医師となって、社会に貢献しましょう！

診療科等案内

- 総合歯科
- むし歯科
- 歯周科
- クラウンブリッジ補綴科
- 咬合・義歯補綴科
- 口腔外科（再建系）
- 口腔外科（病態系）
- 歯科放射線・口腔診断科
- 歯科麻酔科
- 矯正歯科
- 予防歯科
- 小児歯科
- スペシャルニーズ歯科センター
 - 特別支援歯科部門
 - 摂食・嚥下リハビリテーション部門

卒後臨床研修センター(歯科研修部門)

- 医療支援歯科治療部
 - 高度医療支援歯科部門
 - 周術期管理歯科部門

歯科総合診断室（予診室）

- 歯科地域医療支援室
- 口腔検査・診断センター
- 口唇裂・口蓋裂総合治療センター
- 侵襲性歯周炎センター
- デンタルインプラントセンター
- 専門外来

- 審美歯科外来
- 顎関節症・口腔顔面痛み外来
- 顎顔面補綴外来
- 特殊義歯外来
- 口臭外来
- 口のかわき・味覚外来
- 口腔がん外来
- 夢の会話プロジェクト外来
- 歯科金属アレルギー外来
- スポーツ歯科外来
- 母と子の歯科外来

診療科連携部門（センター）

- 頭頸部がんセンター
- 小児医療センター
- 小児頭蓋顔面形成センター
- 成人先天性心疾患センター
- 糖尿病センター





江草 正彦 スペシャルニーズ歯科センター センター長・教授
(岡山県立岡山大安寺高等学校 昭和56年卒業)

地域の障害児者、高齢者の口腔のQOL向上に貢献

スペシャルニーズ歯科センターは、身体的、精神的、そして心理的に種々の障害や疾患のある歯科に「特別に支援の必要な人」に対して、ケア・ケア・リハビリテーションを医療・保健・福祉などの他の領域とも連携して行っています。また、地域で生活する乳幼児から高齢者まで多くの人達に対するシームレスケアの実現に向けたシステム作りの第一歩として、現在「地域連携クリニカルパス」を開発しています。このように当センターは、歯科のみならず医療全般の領域において、生活に密着した地域連携のフロントランナーをめざしています。

当センターには、特別支援歯科治療部門（障害児者歯科治療）と摂食・嚥下リハビリテーション部門があります。特別支援歯科治療部門では、歯科麻酔科との連携によって、中四国地方では数少ない全身麻酔・静脈内鎮静法等での障害者の歯科治療を行っています。また、自閉症関連では世界的に有名なTEACCHプログラムによる行動療法なども実践しています。

また摂食・嚥下リハビリテーション部門では、医科からの紹介患者（乳幼児から高齢者まで）も多数で、医科歯科連携の要の一つになっています。家庭や学校で家族や友達と一緒に食事を食べたい、自分の口から美味しさを味わいながら食べたいと、摂食・嚥下機能に障害のある誰もが望んでいます。当部門では、障害のある人を中心にした口腔領域の医療・保健とその家族を含めた食生活の支援も行っています。



▲摂食・嚥下リハビリテーション



▲外来での全身麻酔下歯科治療



曾我 賢彦 医療支援歯科治療部 部長・准教授
(滋賀県立彦根東高等学校 平成4年卒業)

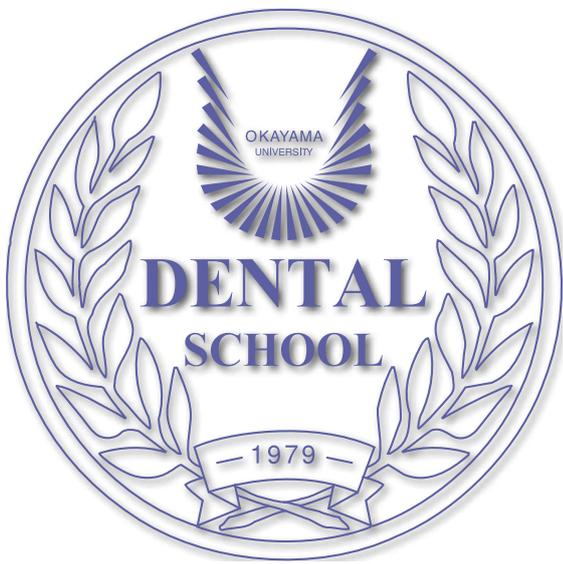
医療支援歯科治療部の紹介

歯科医師の専門性は、病院医療の意外なところで驚くほど役に立ちます。岡山大学病院では高度な医療が日々展開されています。その中には、口の中の適切な管理が不可欠なものが少なくありません。臓器移植医療に伴う免疫抑制状態や、がん治療（とりわけ白血病等の血液悪性疾患）そして心臓血管外科の手術などでは、口の中の感染対策や経口栄養摂取のサポートが極めて重要です。私たちは、本院で行われる高度な医療を歯科の専門性からサポートする医科歯科連携の拠点として、歯科系の多くの科の応援歯科医師や歯科衛生士等とともに活動を展開しています。広い見識をもった医療人を育成するため、この医療連携の場を学生の間から積極的に知ってもらい、若い豊かな感性に何か良い影響を与えることができればと考えています。

医療現場の一線で活躍する医師などのスタッフと歯科医師が協働する姿を目の当たりにし、歯科医師が医療を構成する一員であることを身を持って感じることができると幸いです。楽しいですよ！



▲ICUでの口腔ケア



岡山大学

岡山大学歯学部

〒700-8525 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等
学務課教務グループ（歯学部担当）

TEL : 086-235-6627 FAX : 086-235-7564

URL : <https://www.okayama-u.ac.jp/user/dent/>

岡山大学歯学部広報委員会編集

